



検索

ニュースカテゴリー

## 施設入所に適性があるのはどんな人？

あとで読む

【尊厳ある介護（94）】施設入所適性検査を作ってみました

公開日：2020/02/25 (ソサエティ)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉  
ベタニアホーム理事長)



私が福祉の仕事に就いた頃、「施設利用者の中で対応に苦勞するのは、社長や先生と呼ばれた人」という定説がありました。

この定説は事実なのでしょうか。

多くの利用者に関わった経験から言うと、「そうであるかもしれない」し、「そうでないかもしれない」という、まことに曖昧な答えしか導きだせません。

では、なぜ「社長や先生」と呼ばれる人が施設を利用すると、介護スタッフを悩ます存在になると言われているのでしょうか。

誤解をまねくといけないので、声を大にして言いたいのですが、決して全員がそのようなわけではありません。

かつて大学教授だった利用者は、温厚な性格で周りの利用者の相談役になっていました。医師だった利用者は、「何でも忘れてしまうので皆さんに迷惑をかけます」と、謙虚さを忘れませんでした。

一方で、中央で公務員だった利用者は退職して生まれ故郷に戻り、私たちの施設に入所されましたが、地方暮らしの周りの利用者と話が合わないと言って、孤立をしていました。

社長や先生ではありませんでしたが、食事の味付けやメニュー、ごはんの炊き具合などに度々苦情を言われる利用者もいます。

予算の範囲内で改善できることは行い、「個人の好みに合わせるには限界があります」とお伝えしても、納得されず何度も訴えられるのです。

だから、施設入所に適性があるかないかは、その人の性格や人柄によるのではないかと思うのです。

もちろん、そのパーソナリティーは生活歴、社会的立場、家族環境などが影響していると考えますが。

実はかく言う私こそ施設入所すると、スタッフの困難事例になるのではないかと、戦々恐々としています。

そこで、これまでの経験値を基にして自分のために、「施設入所適性検査」を作成してみました。

施設に入所して比較的上手くいく人は、以下の共通点があるように思います。  
興味のある人はチェックを入れてみてください。

- ①協調性がある（自分の考えばかりを主張し譲り合う姿勢がないと、孤立してしまう）
- ②柔軟性がある（自分の思いや生活スタイルなどにこだわり、変化を受け入れないと、不満がつのる）
- ③ルールを守れる（ルールを守らないと、周りの人に迷惑をかけて退所になりかねない）
- ④大きな声をあげて怒らない（大きな声を上げると、周りの人を怖がらせストレスを与えてしまう）
- ⑤訴えが少ない（自分が納得するまで何度でも長時間訴えたと、周りの人やスタッフを疲弊させる）
- ⑥人に依存しない（人に頼り何でもやらせてもらおうとすると、周りの人の負担になる。認知症などになりやすい）
- ⑦「ありがとう」「ごめんなさい」が言える（不平不満ばかり言って、自分に非が

あっても認めることができないと、人間関係が上手くいかない)

⑧過去の栄光に生きていない（今の自分の環境を受け入れられないと、現状に馴染めない)

⑨家族や友達などの交流が多い（これまでの人間関係が希薄だと、施設での生活オンリーになるので、逃げ場がなくなる)

⑩自分なりの趣味や楽しみを持っている（趣味や楽しみがないと、辛いことがあった時にそのことばかりに捉われてしまう。生活にうるおいが欠ける)

皆さんの結果はいかがでしたでしょうか。

10点満点で6点以上が「施設入所適性あり」です。

3と4と5の項目にチェックが入らなかった人は「施設入所要検討」です。

認知症が原因でチェックが入らない項目の多い人は、この検査は参考程度で。

ややもすると、社長や先生と呼ばれた人は、指示や命令、教示する立場にあつたので、1と4と6と8に、チェックは入りにくかったのではないのでしょうか。

ちなみに、私は1と2にチェックが入りませんでした。長時間ではありませんが、自分が納得いかないと何度も訴えるかもしれないので3は△です。

他の人が私を見て評価すると、もっと多くの項目にチェックが入らず、自分に甘いとお叱りを受けるかもしれません。

なお、この検査は独断と偏見で作成したものです。信憑性については不明ですので、お許しください。

(注) 事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

> [里村 佳子のバックナンバー](#)

> [新型コロナウイルス 重症者対策に力点 軽症者は自宅療養を](#)

- > [新型ウイルス、過剰にみえる予防策もいまは必須の時期](#)
- > [新型肺炎感染はなぜ拡大したか・・・中国政府の危機管理の失敗](#)
- > [ロシア、電光石火の憲法改正審議——プーチンはなぜそんなに急ぐのか](#)

プロフィール

最近の投稿



### 里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム理事長）

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設運営。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。2019年ニュースソクラのコラムを加筆・修正して「尊厳ある介護」を岩波書店より出版。

[この記事編集](#)

ソクラとは	<a href="#">FAQ</a>
編集長プロフィール	<a href="#">利用規約</a>
利用案内	<a href="#">プライバシーポリシー</a>
著作権について	<a href="#">特定商取引法に基づく表示</a>
メーカーソクラ	<a href="#">お問い合わせ</a>
お知らせ一覧	<a href="#">コラムニストプロフィール</a>

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved